化粧鏡
自動照明付化粧鏡

CBA-105　T1A-2090
CBA-107　CBA-108

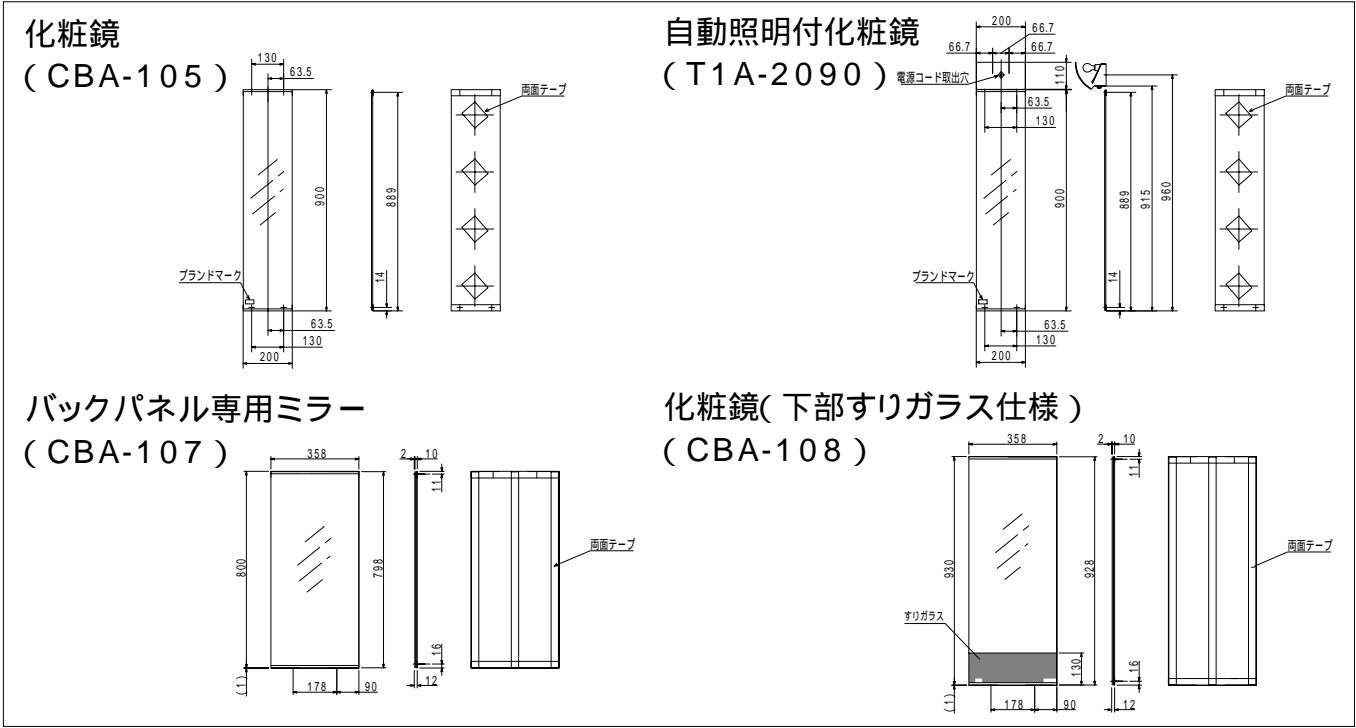
施工される前に

●施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。
　※この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。
　※自動照明については、自動照明付属の説明書に従い正しく施工してください。
●施工段階での欠陥工事は、製造物責任法に基づき、二次責任が問われる場合がありますことを十分にご認識いただき、お客様が安全で快適にご使用できるようご協力ください。
●付属部品の内容と数量が合っていることを確認してください。
●照明器具の取付けには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店もしくはIMT に依頼してください。

■付属部品

品　名	化粧鏡	自動照明付化粧鏡
品　番	CBA-105	T1A-2090
上部ジョイナー	1個	1個
下部ジョイナー	1個	1個
固定ねじ（φ4×30）	4本	4本
自動照明	−	1台
施工説明書	1部	1部
取扱説明書	1部	2部（照明専用1部）

品　名	バックパネル専用ミラー	化粧鏡（下部すりガラス仕様）
品　番	CBA-107	CBA-108
上部ジョイナー	1個	1個
下部ジョイナー	1個	1個
固定ねじ（φ4×30）	4本	4本
施工説明書	1部	1部
取扱説明書	1部	1部

■寸法図　鏡、自動照明をねじ固定する位置に補強木が設置されていることを確認してください。

安全のために必ずお守りください

ここでは施工に際して守らないと人身事故や、家財の損害に結びつく注意事項を挙げています。施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

用語および記号の説明

警告……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
注意……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
⚠……「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意を促す記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
⃠……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
……「分解してはいけません！」
……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 警告

●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
　※ケガや故障が生じる恐れがあります。
●ストーブやヒーターなどや熱の発生するものの近くに設置しないでください。
　※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。

⚠ 警告

●スプレー缶等や燃えやすいものが置いてある場所には設置しないでください。
　※爆発や火災をおこす恐れがあります。

●照明器具のすき間やソケット部にヘアピンや針金、可燃物などを差し込まないでください。
　※火災や感電をおこす恐れがあります。

●布や紙など燃えやすいもので覆ったりかぶせたりしないでください。
　※火災をおこす恐れがあります。

⚠ 注意

●この説明書に記載されている以外の壁仕様（ALC壁等）の場合は鏡の取付けをしないでください。
　※鏡の取付強度が保てず落下する恐れがあります。必ず壁の施工のやり直しを行ってください。
●鏡が破損しないよう、取扱いには十分注意してください。
　※鏡が破損してケガをする恐れがあります。
●浴室内などの高温多湿な場所には設置しないでください。
　※漏電や感電をおこす恐れがあります。

●ランプに塗料などをぬらないでください。
　※ランプが過熱、破損してケガをする恐れがあります。

お願い

●直射日光が当たる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
　※変色や変形の原因となります。

お願い

●鏡取付壁面の不陸が5mm/2mを超える場合は施工しないでください。
　※不陸があるまま施工すると鏡がひずんだり割れたりする恐れがあります。
●酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して本体をふかないでください。
　※変色や変形の恐れがあります。

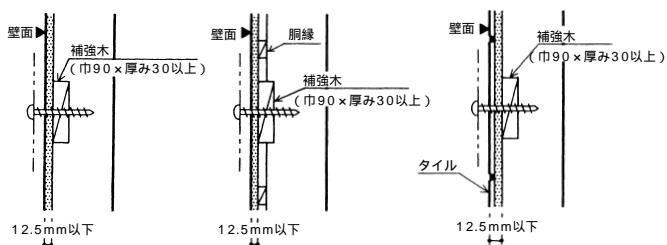
施工前の確認

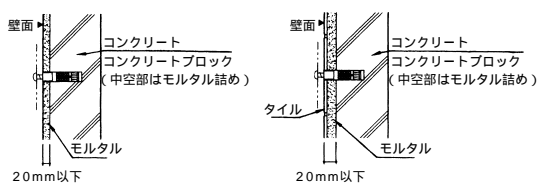
■壁面工事の確認
［壁材、下地材の確認］
●鏡の取付け可能な壁面は裏面図に示す。
　（1）乾式壁3種
　（2）湿式壁2種　の以上5種類の壁面のみです。
［補強木、仕上材の厚みの確認］
●鏡の取付けには、乾式壁の場合、壁面に補強木（幅90mm×30mm以上）が指定の施工ビス位置（寸法図参照）に必ず必要です。あらかじめ建築施工の際に補強木を設けてください。直接、壁の仕上材に鏡を取り付けないでください。
●補強木の柱や、間柱への取付部材（ねじ等）は、鏡の固定強度（乾式壁の図を参照）と同等以上になるように種類、数を選定してください。
●乾式壁の場合は、補強木手前の仕上材は取付ねじを補強木に届かせるため、必ずトータルの厚みで12.5mm以下のものを用いてください。
●湿式壁の場合は、AYボルトをコンクリートに届かせるため、モルタル、タイルの仕上げはトータルの厚みで20mm以下としてください。また、壁本体がコンクリートブロックの場合は、中空部をモルタル詰めにしてください。

⚠ 注意

この説明書に記載されている以外の壁仕様（ALC壁等）の場合には、鏡を取り付けないでください。
※鏡の取付強度が保てず、落下する恐れがあります。必ず壁の施工のやり直しを行ってください。

1.乾式壁

●ボード類直張り　●ボード類胴縁取付け　●タイル仕上げ

2.湿式壁

●モルタル仕上げ　　●タイル仕上げ

※壁本体がコンクリートブロックの場合は、中空部はモルタル詰めしてください。
※ AY ボルト品番：KY-4 × 60TW（AY）の取付け穴は、穴径 7.5mm、穴深さ 60mm 以上です。

施工方法

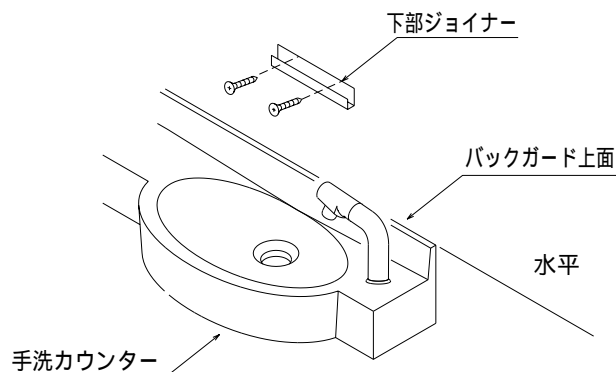
■化粧鏡の取付け

●乾式壁の場合は付属の固定ねじをご使用ください。
●湿式壁の場合は、AY ボルト（KY-4X60TW（AY）：別途手配、２本入）をご使用ください。

１．位置決め

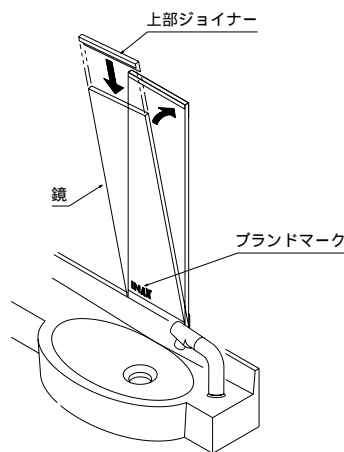
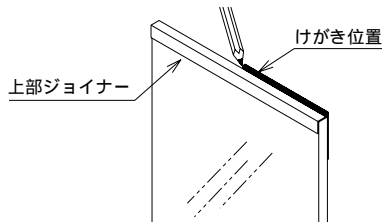
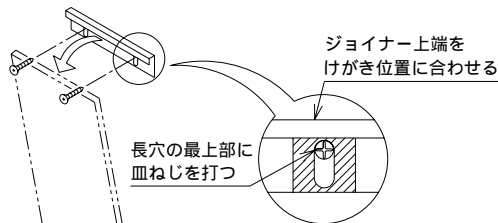
●寸法図の取付位置を参考に、現物あわせで取付位置をマークします。

２．下部ジョイナー（丸穴）の取付け

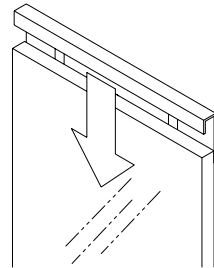
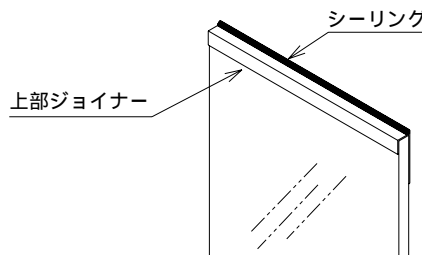
（1）手洗カウンターのバックガード上面が水平であることを確認してください。水平でない場合は鏡も水平に設置することができません。
（2）下部ジョイナーをカウンターバックガード上面（バックパネル専用ミラーの場合はバックパネル上面）にのせ、手洗器の中心とジョイナーの中心を合わせます。
（3）下部ジョイナーを付属のねじ（皿φ4.0×30mm）で水平に壁に固定します。

⚠ 注意

上部ジョイナーと下部ジョイナーを逆に取り付けないでください。（丸穴付きが下部、長穴付きが上部ジョイナーです。）
※ジョイナーを逆に使用された場合、鏡が外れてケガをする恐れがあります。

３．鏡の取付け

（1）鏡の両面テープをはがさずに鏡を下部ジョイナーにはめ込み、位置決めのために上部ジョイナーをはめ込みます。
　※鏡の上下に注意してください。裏面のコーティング加工面の広い方が下側となります。（ブランドマーク、またはすりガラス面が目印となります。）

（2）上部ジョイナー（長穴）の上端をけがき、いったん鏡を取り外します。

（3）けがき位置に上部ジョイナーを合わせて、ジョイナーの長穴最上部に付属のねじ（皿φ4.0×30mm）で水平に壁に固定します。
　※上部ジョイナーは上下にスライドできる状態で固定してください。

（4）鏡裏面の両面テープはく離紙をはがします。下部ジョイナーに鏡をはめ込み、上部ジョイナーを下方にスライドさせて鏡を固定します。
　※鏡は上下を間違わないように施工してください。

⚠ 注意

●両面テープは鏡が割れた時に二次災害を少なくする効果があります。必ず両面テープで壁に接着してください。
●上部ジョイナーはしっかりと下までスライドさせ、鏡を固定してください。
※ジョイナーのスライドが不完全な場合、鏡が外れてケガをする恐れがあります。

（4）上部ジョイナーと壁が接する部分にシール材でシーリングします。

４．自動照明の取付け（自動照明付化粧鏡：T1A-2090の場合）

自動照明については自動照明付属の説明書（P.2）に従い正しく施工してください。

施工後の確認

■化粧鏡、自動照明の確認

（1）鏡本体および自動照明の取付けねじが十分に締まって、ゆるみがないことを確認します。
（2）鏡本体および自動照明にガタツキがなく、壁にしっかりと固定されていることを確認します。
（3）下部ジョイナーがカウンターバックガード上面にあわせてきちんと取り付けてあることを確認します。